

いじめの問題に関する教員養成課程における取り扱いについて（論点）

いじめの問題について教員養成課程において扱うこととする場合、以下の点について検討が必要。

<いじめの問題を扱う場合の内容>

○ 養成課程においては、どのような内容を扱うことが適当か。

- ◇ 既存の課程では、いじめの問題について、
 - ・ 教育心理学（「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）」）
 - ・ 生徒・進路指導論（「生徒指導の理論及び方法」）
 - ・ 教育相談（「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」）
 - ・ 学校経営論（「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」）などにおいて扱われているが、これら科目の中でどのように充実を図ることとするか。

- ◇ いじめの問題に対する対応等について、教育実習においても扱うべきか。扱うとする場合、どのような内容とすべきか。

<指導体制>

○ 効果的な指導体制としてどのようなものが考えられるか。

○教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）

第五条 普通免許状は、別表第一、第二若しくは第二の二に定める基礎資格を有し、かつ、大学若しくは文部科学大臣の指定する養護教諭養成機関において別表第一、第二若しくは第二の二に定める単位を修得した者又はその免許状を授与するために行う教育職員検定に合格した者に授与する。（以下略）

別表第一 （第五条、第五条の二関係）

第一欄 所要資格		第二欄 基礎資格	第三欄			
免許状の種類			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	特別支援教育に関する科目
幼稚園教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	6	3 5	3 4	
	一種免許状	学士の学位を有すること	6	3 5	1 0	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること	4	2 7		
小学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	8	4 1	3 4	
	一種免許状	学士の学位を有すること	8	4 1	1 0	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること	4	3 1	2	
中学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	2 0	3 1	3 2	
	一種免許状	学士の学位を有すること	2 0	3 1	8	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること	1 0	2 1	4	
高等学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	2 0	2 3	4 0	
	一種免許状	学士の学位を有すること	2 0	2 3	1 6	
特別支援学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				5 0
	一種免許状	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				2 6
	二種免許状	小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				1 6
備考 (略)						

○教育職員免許法施行規則（昭和 29 年文部令 27 号）（抄）

第六条 免許法別表第一に規定する幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教職に関する科目の単位の修得方法は、次の表の定めるところによる。

第一欄	るに教 科関 目す職	右項の各科目に含めること が必要な事項	幼稚園教諭			小学校教諭			中学校教諭			高等学校教諭		
			専修	一種	二種	専修	一種	二種	専修	一種	二種	専修	一種	
最 低 修 得 単 位 数	第二欄	に教職の意義等 に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容（研修、服 務及び身分保障等を含む。 。）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
			進路選択に資する各種の機 会の提供等											
			教育の理念並びに教育に関 する歴史及び思想											
	第三欄	教育の基 礎理論に 関する科 目	幼児、児童及び生徒の心身 の発達及び学習の過程（障 害のある幼児、児童及び生 徒の心身の発達及び学習の 過程を含む。）	6	6	4	6	6	4	6 (5)	6 (5)	4 (3)	6 (4)	6 (4)
			教育に関する社会的、制度 的又は経営的事項											
			教育課程の意義及び編成 の方法				22	22	14	12 (6)	12 (6)	4 (3)	6 (4)	6 (4)
	第四欄	目教育課 程及び 指導法 に関する科 目	各教科の指導法											
			道徳の指導法											
			特別活動の指導法											
			教育の方法及び技術（情 報機器及び教材の活用を 含む。）											
教育課程の意義及び編成 の方法			18	18	12									
保育内容の指導法														
第五欄	目進路指 導等 に関する科 目	生徒指導の理論及び方法												
		教育相談（カウンセリング に関する基礎的な知識を含 む。）の理論及び方法				4	4	4	4 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	
		進路指導の理論及び方法												
		幼児理解の理論及び方法												
第六欄		教育相談（カウンセリング に関する基礎的な知識を含 む。）の理論及び方法	2	2	2									
		教育実習	5	5	5	5	5	5	5 (3)	5 (3)	5 (3)	3 (2)	3 (2)	
		教職実践演習	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
備考（略）														

【いじめの問題を扱っているシラバスの例】

授業科目名	教員の免許状取得のための	単位数
子どもの発達と心のケア	必修科目 / 選択科目	2 単位
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	教職の基礎理論に関する科目 ・ <u>幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）</u>	
授業計画 第 1 回：子どもの脳とこころの発達 第 2 回：子どもとおとな 第 3 回：脳の発達と身体の発達 第 4 回：脳の発達と精神発達 第 5 回：情緒および社会性の発達 第 6 回：発達障害 第 7 回：発達過程における問題と対応 第 8 回：児童虐待 第 9 回：心身症と神経症 第 10 回： <u>いじめと不登校</u> 第 11 回：学習障害と注意欠陥多動性障害 第 12 回：知的障害と汎用性発達障害（自閉症障害） 第 13 回：教育の役割と医療との連携 第 14 回：学校における保健室や養護教諭の役割 第 15 回：医療との連携とネットワークづくり		

授業科目名	教員の免許状取得のための	単位数
学校の経営・制度・社会	必修科目/選択科目	2単位
教育職員免許法施行規則 上の位置づけ	教育の基礎理論に関する科目 ・教育に関する社会的、制度的または経営的事項	
<p>授業計画</p> <p>第1回：教育の「経営」的側面①（教育経営をめぐる近年の動向）</p> <p>第2回：教育の「経営」的側面②（学校評価と自律的な学校経営）</p> <p>第3回：教育の「経営」的側面③（開かれた学校づくりに基づく教育課程の編成）</p> <p>第4回：教育の「経営」的側面④（学級経営と授業）</p> <p>第5回：教育の「経営」的側面⑤（いじめをつくらない学級経営の工夫）</p> <p>第6回：教育の「経営」的側面⑥（地域の教育力を活用した学校・学級経営）</p> <p>第7回：教育の「制度」的側面①（教育制度をめぐる近年の動向）</p> <p>第8回：教育の「制度」的側面②（学区制度と学区の自由化）</p> <p>第9回：教育の「制度」的側面③（教育特区に見る地方教育制度改革）</p> <p>第10回：教育の「制度」的側面④（小中連携教育の実態と課題）</p> <p>第11回：教育の「制度」的側面⑤（外国人児童の教育と人権）</p> <p>第12回：教育の「制度」的側面⑥（諸外国との比較から見た日本の教育制度の特質）</p> <p>第13回：教育の「社会」的側面①（社会教育をめぐる近年の動向）</p> <p>第14回：教育の「社会」的側面②（地域社会における社会教育施設の役割）</p> <p>第15回：教育の「社会」的側面③（NPOの教育力）</p> <p>第16回：教育の「社会」的側面④（学者連携に基づく総合的学習の展開）</p> <p>第17回：教育の「社会」的側面⑤（学校教育・社会教育・家庭教育の連携）</p> <p>第18回：教育の「社会」的側面⑥（東アジア諸国との連携に基づく日本の社会教育）</p> <p>第19回：今日の教育課題と解決方法</p> <p>第20回：学校の「経営」「制度」「社会」</p>		

授業科目名	教員の免許状取得のための	単位数
生徒指導（進路指導を含む）	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">必修科目</div> / 選択科目	2 単位
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 ・ <u>生徒指導の理論及び方法</u> ・ <u>進路指導の理論及び方法</u>	
<p>授業計画</p> <p>第1回：ガイダンス：生徒指導の意義・目的・内容</p> <p>第2回：進路指導とキャリア教育の意義と内容</p> <p>第3回：進路指導・キャリア教育の理論的背景</p> <p>第4回：進路指導における生徒理解の方法</p> <p>第5回：キャリア教育の計画と実践</p> <p>第6回：進路指導・キャリア教育の評価</p> <p>第7回：児童生徒の問題行動の現状と生徒指導の課題</p> <p>第8回：生徒指導における児童生徒理解の理論と方法</p> <p>第9回：問題行動への組織的対応の理論と実際</p> <p>第10回：非行問題の理解と対応</p> <p>第11回：暴力行為の理解と対応</p> <p>第12回：<u>いじめ問題の理解と対応</u></p> <p>第13回：子どもの自殺予防と危機対応の実際</p> <p>第14回：生徒指導をめぐる時事的問題の事例研究（1）</p> <p>第15回：生徒指導をめぐる時事的問題の事例研究（2）</p>		

授業科目名	教員の免許状取得のための	単位数
教育相談論	必修科目 選択科目	2 単位
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 ・ <u>教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法</u>	
<p>授業計画</p> <p>次の3部構成で授業を展開する。</p> <p>第Ⅰ部：学校教育相談の概論（第1～5回）</p> <p>第Ⅱ部：個別支援の理論と方法（第6～10回）</p> <p>第Ⅲ部：教育臨床の実際（第11～15回）</p> <p>第1回：オリエンテーション、学校教育相談の概念規定と歴史の変遷〈学校教育相談実践史〉</p> <p>第2回：学校教育相談の基礎（1）：児童生徒理解の理論と実際</p> <p>第3回：学校教育相談の基礎（2）：予防的・開発的教育相談の実際、教職員のメンタルヘルス</p> <p>第4回：学校教育相談の基礎（3）：問題解決的教育相談（チームによる支援を中心に）の実際</p> <p>第5回：総括Ⅰ：試験 or レポート、総合ディスカッション</p> <p>第6回：個別支援の方法</p> <p>第7回：個別支援におけるアセスメント</p> <p>第8回：個別支援におけるカウンセリング</p> <p>第9回：個別支援におけるコンサルテーション</p> <p>第10回：総括Ⅱ：試験 or レポート、総合ディスカッション</p> <p>第11回：児童・生徒がかかえる悩みと問題</p> <p>第12回：不登校へのかかわり</p> <p>第13回：<u>いじめと問題行動</u></p> <p>第14回：発達支援と教育相談</p> <p>第15回：総括Ⅲ：試験 or レポート、総合ディスカッション</p>		